

この夏は 省エネルギーで スローライフを

「スローライフ」とは、その言葉どおり「ゆっくりと生活する」ということです。これは、単にだらだらと生活するという意味ではなく、時間に追われる現代社会で忘れ去られようとしているものを再発見し、心身ともに豊かな気持ちで生活することを意味します。

8月1日は 省エネルギー総点検の日



環境家計簿エコライフノート をつけてみませんか

各家庭で省エネ・省資源に取り組んだ内容を1年間記載し、どれだけ二酸化炭素を排出したか簡単に分かる「エコライフノート」を環境安全課、各地区公民館などで無料配布しています。このエコライフノートはいつからでも始めることができます。

エコライフひろめ隊に なりませんか

地球環境にやさしい生活「エコライフ」に積極的に取り組んでいる人を世帯単位でエコライフひろめ隊として募集しています。隊員になると、環境に関する情報や資料、市の開催する環境に関する講座の案内が受けられるほか、エコライフノートをお配りします。

問い合わせ▼環境安全課

募集期間▼9月30日(火)まで 活動期間▼隊員となった日から可能な限り申し込み▼環境安全課、各地区公民館にある応募用紙に記入のうえ同課へ

スローライフを求めるための一つの手段として、自然環境とともに生きる「共生」があります。8月は、冷房機器の使用のほか、お子さんの夏休みやお盆休みで自動車を使つての行楽の機会も増え、エネルギー消費量も増大します。地球温暖化が進む主な原因とされる二酸化炭素は、エネルギーや資源を消費するときに大量に放出されるので、このまま大量のエネルギーを消費し続けるとスローライフを行うための自然環境に多大な影響を及ぼすこととなります。市民の皆さんもこの機会にぜひ省エネ・省資源に心がけ、季節感のある本来の夏を楽しむことにより、地球温暖化防止に取り組みましよう。

1ト式になっていますので、ぜひ、挑戦してみてください。

地球温暖化による日本での影響

世界各国の科学者で構成されるIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告では、このまま何も対策をとらなければ、2100年までに地球全体の平均気温は最大5.8度上昇し、異常気象の増加、食糧危機、海面の上昇による低地の水没、健康への影響など、人類の生存基盤に重大な影響を及ぼすことが懸念されています。

ほか、地下水位の上昇、塩水化の進行も指摘されています。

■自然生態系

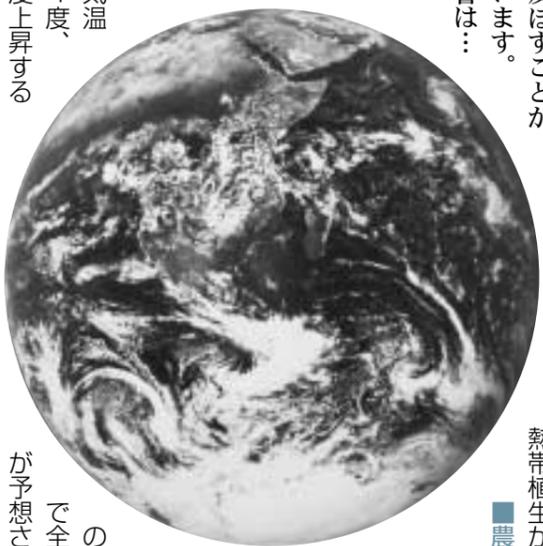
ハイマツ、ライチョウなど高山生態系の分布域は縮小。昆虫類が北方や高山に移動し、病害虫被害の地域変動が生じます。シカやサル、イノシシなどの分布が拡大。九州には亜熱帯植生が出現します。

ハイマツ、ライチョウなど高山生態系の分布域は縮小。昆虫類が北方や高山に移動し、病害虫被害の地域変動が生じます。シカやサル、イノシシなどの分布が拡大。九州には亜熱帯植生が出現します。

■農作物への影響

米は、高緯度地域で増産する一方、低緯度地域で高温による生育障害が起きます。二酸化炭素の増加で施肥効果はあるものの高温の影響で全体的には減産が予想されています。

米は、高緯度地域で増産する一方、低緯度地域で高温による生育障害が起きます。二酸化炭素の増加で施肥効果はあるものの高温の影響で全体的には減産が予想されています。



北日本で5度上昇するとの予測があります。台風の大化も指摘されています。

■海面上昇

東京湾など内湾の海水交換が困難となり汚染が進行、仮に65cmの海面上昇で全国の砂浜海岸の8割以上が浸食されます。また、平均満潮位以下の土地が増え、人、資産の安全確保のため堤防かさ上げが必要となる

■人の健康

夏に、最高気温上昇により熱中症や肺炎にかかる確率が増加。マラリア、デング熱など媒介動物感染症の増加が予想されています。

環境省「地球温暖化の日本への影響2001」報告／国立環境研究所のホームページ参照

わたしたちができる省エネ

省エネルギーを行うことで、二酸化炭素などの温室効果ガスの発生を抑えることができます。わたしたち自身の日ごらの行動を見つめ直し、一人ひとりの行動で地球環境を守っていきましょう。

①冷房は28度を目安に



外気温35度するとき、エアコンの冷房設定温度を27度から28度にした場合、年間約380円の節約、二酸化炭素20kgの削減になります。(2.2kwのエアコンを1日9時間使用した場合)

②冷蔵庫にもを詰め込みすぎない

詰め込んだ場合と、整理して入れた場合とでは、年間1570円の節約、二酸化炭素8.2kg削減になります。

③テレビを見ないときは消す

1日1時間、テレビ(28インチ)を見る時間を減らすと、年間90円の節約、二酸化炭素4.9kgの削減になります。

④照明はこまめにスイッチを切る
54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1時間短縮した場合、年間450円の節約、二酸化炭素2.4kgの削減になります。



⑤待機消費電力の削減
電気製品を使っていないときでも消費されている電力のこと。家庭で消費する電力のうち約10%を占め、家庭でのテレビの消費電力と同じ割合です。無視できません。

⑥近距離は、徒歩、自転車を利用しよう
思いがけない風景にも出会えます。

⑦水道はこまめに止める



⑧休日には早寝早起きをするなど、独自のサマータイムを